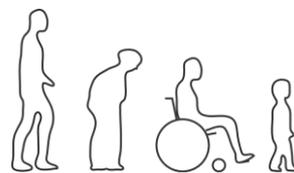


# 嚥下検査



**食べることは**人生の喜びの一つであり、おいしく食べることは元気に生活をする為の基本です。  
その【食べること】が難しくなる障害を『**摂食・嚥下障害**』といい、  
脳卒中の後遺症や神経難病、認知症、加齢などによって起こることがあります。

## 摂食・嚥下障害とは？

食事中にむせたり、飲みにくくなって食べるのが困難になることです。飲み込みだけでなく、食べ物を口に入れることや、噛むことの障害も含まれます。



このような症状は、摂食・嚥下障害が原因で起こっている場合がありますので、一度専門的な検査を受けてみられることをお勧めします。

摂食・嚥下障害になると・・・

- **低栄養・脱水**…食べられないために、栄養が取れず体力が低下したり脱水症状を起こしたりします。
- **誤嚥性肺炎**…食べ物や唾液が誤って気管の方へ入ってしまうことを誤嚥といいます。誤嚥が原因で起こる肺炎が誤嚥性肺炎です。高齢者の肺炎の多くが誤嚥性肺炎といわれています。
- **窒息**…食べ物の大きな塊が喉や気管を塞いで、呼吸が出来なくなることがあります。
- **食べる楽しみが損なわれる**…おいしく、安全に食べるという楽しみが損なわれてしまいます。

## 検査

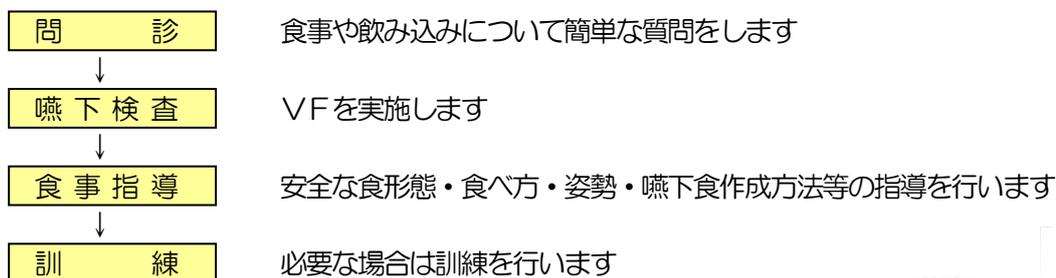
### • VF (嚥下造影検査)

造影剤（バリウム）を混ぜた食物（ゼリー・水分等）を食べて頂き、エックス線で嚥下器官を観察します。



## 検査の流れ

医師の診察後、検査の日程や説明などを致します



**検査結果をもとに解説を行い、対策をご提案します。**



## ご相談・お問い合わせ・診察のご予約 ☎

嚥下検査は予約制です。事前に電話等でご相談ください。

お問合せ先：松山ベテル病院 担当 言語聴覚士 菊池

住所：松山市祝谷6丁目1229番地

電話：089 (925) 5000

検査日：毎週水曜日 午後4時～

担当医：三好浩輔医師